

和泉市洪水ハザードマップ

Izumi-City Flood Hazard Map

和泉市洪水障碍地図 이즈미시 홍수 하차드 맵

洪水ハザードマップに関するお問い合わせ

和泉市 都市デザイン部 都市整備室 道路河川担当
市長公室 公民協働推進室 危機管理担当
〒594-8501 大阪府和泉市府中町二丁目7番5号
TEL:0725-41-1551(代表)
《令和3年7月作成》

このマップは、河川が氾濫した場合に備えるため、河川氾濫や浸水の想定を示し、生命を守るための避難行動につなげて頂くために作成したものです。日頃から家族や地域の方々との情報を共有し、洪水被害の軽減に役立てましょう。

- 大津川水系の横尾川・松尾川などの府管理河川が、想定し得る最大規模の降雨により氾濫した場合に想定される浸水区域等を表示しております。
※浸水想定区域につきましては大阪府が公表している洪水浸水想定区域図等を基に作成しております。
※支川などの氾濫や、高潮及び内水による氾濫などは考慮しておりません。そのため、着色された区域以外にも浸水が発生する可能性や、想定される浸水深が実際と異なる場合があります。

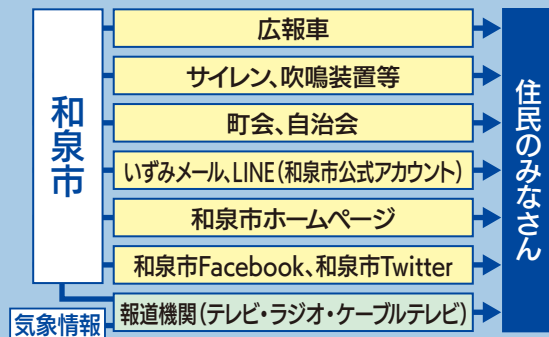
- 避難する際には、雨の降り方や浸水の状況に十分注意し、早めの避難を心がけましょう。

府管理河川	水系流域の想定最大降雨規模
大津川水系 (横尾川・松尾川・父鬼川・東横尾川・牛滝川)	24時間総雨量：875.0mm 1時間最大雨量：101.4mm
王子川水系(王子川・新王子川) 芦田川水系	24時間総雨量：1,150mm 1時間最大雨量：141mm(王子川水系) 144mm(芦田川水系)
石津川水系(甲斐田川)	24時間総雨量：931.4mm 1時間最大雨量：103.7mm

情報の伝達経路

市からの避難情報は右図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。

※市の防災無線の内容が聞き取れない場合は、下記の電話番号で確認できます。
TEL:0725-47-4771



和泉市や大阪府の防災情報 和泉市の各種ハザードマップなどが確認できます

避難所や災害・防災情報について

「市ホームページ」⇒「防災情報」よりご確認ください。

和泉市 防災情報 検索

下記に登録することで、緊急時の情報等をいち早く受け取ることができます

いずみメール

各種行政情報を事前登録した携帯電話やパソコンにメール配信

※下記アドレスへメールを送信してください。
・本登録用のアドレスが返信されます。
izumimail@safe.city.izumi.osaka.jp

和泉市Twitter、Facebook、LINE

登録方法などの詳細は、「和泉市ホームページ」⇒「和泉市ソーシャルメディアガイドライン」よりご確認ください。

和泉市ソーシャルメディアガイドライン 検索

警戒レベルととるべき行動

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報(避難情報等)	自ら行動をとる際の判断に参考となる防災気象情報等
5	災害の発生又は切迫	命の危険直ちに安全確保!	緊急安全確保 ^{※1}	大雨特別警報(浸水害、土砂災害)、氾濫発生情報、高潮氾濫発生情報
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難!> ~~~~~				
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	氾濫危険情報、土砂災害警戒情報、高潮特別警報、高潮警報
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難 ^{※2}	高齢者等避難	大雨・洪水警報、氾濫警戒情報、高潮注意報(警報に切り替える可能性が高い場合)
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認する	大雨・洪水・高潮注意報	氾濫注意情報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	

※1 市町村が災害の状況を確認できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。  
※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めた時に危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

## 立退き避難と屋内安全確保

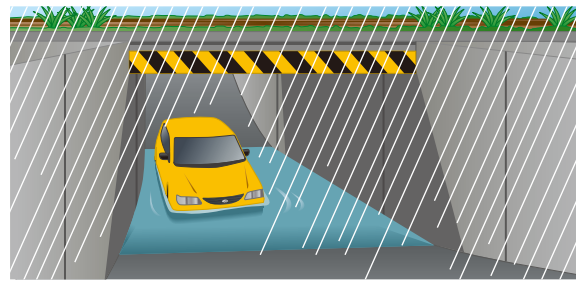
災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければなりません。そのような場合は、避難情報が発令されていても、**避難所等への立退き避難**だけでなく、近隣の高い建物や自宅の2階といった**高い場所での屋内安全確保**をして救助を待つという判断も必要です。特に、内水氾濫や夜間時の立退き避難は非常に危険です。



※安全な場所にいる人は、無理に避難場所に行く必要はありません。  
※避難先は避難場所だけではなく、安全な和風住宅・知人宅に避難することも考えましょう。  
※地下街や半地下住宅、地下駐車場、機械式駐車場は浸水する危険性が高いので、雨が強くなってきたら早めに安全な場所へ避難してください。

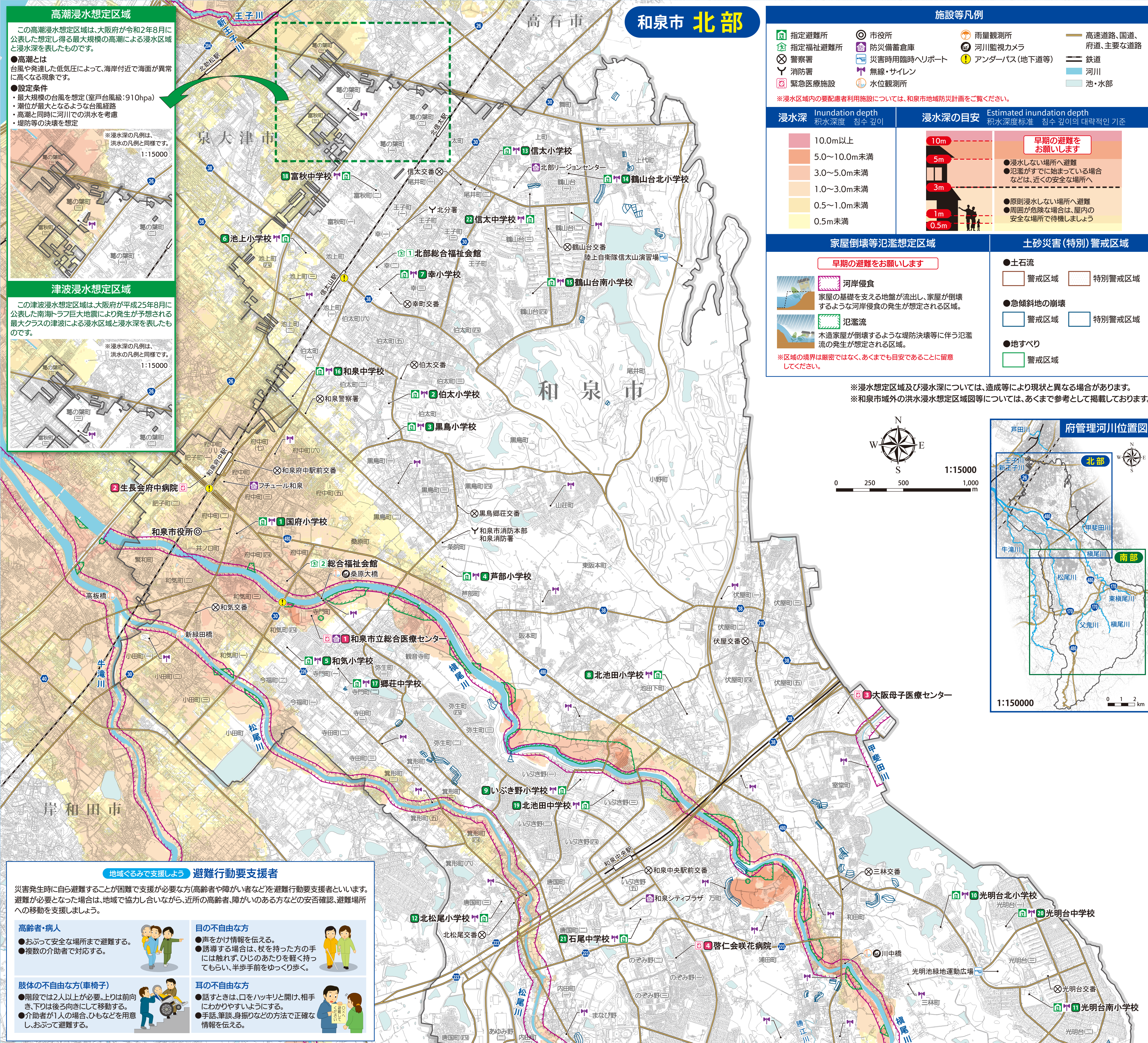
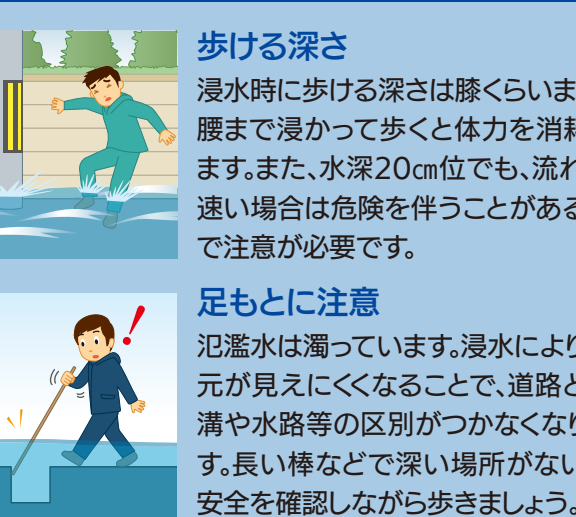
## アンダーパスには入らない!

アンダーパスとは、交差する鉄道やほかの道路の下を通過するため、周辺の地面よりも低くなっている道路区間のことです。地形的に雨水が集まりやすい構造となっています。



- ❶ 不用意に通行せず、迂回する  
道路が冠水している状況を見つけた場合には、不用意に通行せず、迂回するなどの危険回避を最優先で行ってください。
- ❷ 侵入してしまったら、脱出することを第一に考える  
万一が冠水した道路に進出した場合は、冠水場所から脱出してください。

## 浸水後の避難 やむを得ず移動する場合は



No.	施設名	所在地	電話番号	No.	施設名	所在地	電話番号
1	国府小学校	府中町2-5-20	0725-41-0095	12	北松尾小学校	唐国町3-3-19	0725-54-0066
2	北小学校	伯太町2-24-22	0725-41-0096	13	信太小学校	尾井町2-8-17	0725-43-1007
3	黒鳥小学校	黒鳥町1-6-5	0725-43-0838	14	鶴山台北小学校	鶴山台1-9-1	0725-44-1503
4	芦部小学校	芦部町224-3	0725-41-0097	15	鶴山台南小学校	鶴山台4-1-1	0725-43-1717
5	和気小学校	和気町4-9-1	0725-44-2253	16	和泉中学校	伯太町1-2-1	0725-41-0094
6	池上小学校	池上町3-14-45	0725-45-3840	17	郷荘中学校	寺門町1-14-35	0725-44-2256
7	幸小学校	幸2-3-1	0725-44-2330	18	富秋中学校	富秋町2-2-89	0725-45-3000
8	北池田小学校	池田下町1670	0725-55-0169	19	北池田中学校	いぶき野3-4-1	0725-57-0081
9	いぶき野小学校	いぶき野3-3-1	0725-57-0035	20	光明台中学校	光明台1-28-1	0725-56-3220
10	光明台北小学校	光明台1-35-1	0725-56-6700	21	石尾中学校	万町930	0725-55-0157
11	光明台南小学校	光明台3-8-1	0725-56-3200	22	信太中学校	鶴山台1-1-1	0725-41-2250

No.	施設名	所在地	電話番号
1	国府小学校	府中町2-5-20	0725-41-0095
2	北小学校	伯太町2-24-22	0725-41-0096
3	黒鳥小学校	黒鳥町1-6-5	0725-43-0838
4	芦部小学校	芦部町224-3	0725-41-0097
5	和気小学校	和気町4-9-1	0725-44-2253
6	池上小学校	池上町3-14-45	0725-45-3840
7	幸小学校	幸2-3-1	0725-44-2330
8	北池田小学校	池田下町1670	0725-55-0169
9	いぶき野小学校	いぶき野3-3-1	0725-57-0035
10	光明台北小学校	光明台1-35-1	0725-56-6700
11	光明台南小学校	光明台3-8-1	0725-56-3200

No.	施設名	所在地	電話番号
1	国府小学校	府中町2-5-20	0725-41-0095
2	北小学校	伯太町2-24-22	0725-41-0096
3	黒鳥小学校	黒鳥町1-6-5	0725-43-0838
4	芦部小学校	芦部町224-3	0725-41-0097
5	和気小学校	和気町4-9-1	0725-44-2253
6	池上小学校	池上町3-14-45	0725-45-3840
7	幸小学校	幸2-3-1	0725-44-2330
8	北池田小学校	池田下町1670	0725-55-0169
9	いぶき野小学校	いぶき野3-3-1	0725-57-0035
10	光明台北小学校	光明台1-35-1	0725-56-6700
11	光明台南小学校	光明台3-8-1	0725-56-3200

### 災害用伝言ダイヤル 119

このサービスは、大規模な災害が発生した場合、「声の伝言板」(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間などで、伝言の登録・再生をすることができます。

伝言の録音方法	伝言の再生方法
1. 119をダイヤル 2. 1を押す 3. 被災地の方の電話番号を「市外局番」からダイヤルしてください 4. 伝言を録音する	1. 119をダイヤル 2. 2を押す 3. 被災地の方の電話番号を「市外局番」からダイヤルしてください 4. 伝言を再生する

休発利用日 毎月1日・15日、正月三日日、および防災週間、防災ボランティア週間